

| No. | | | | | 市立甲府病院 機能仕様書 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| Lv1 | Lv2 | Lv3 | Lv4 | Lv5 | 要件項目 |
| 17 | 1 | | | | 業務全般 |
| 17 | 1 | 1 | | | 薬品の在庫管理、出庫状況、購入管理、使用期限管理等の業務が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 2 | | | マウス・キーボードおよびバーコードリーダーによる簡単な入力方式を採用していること。 |
| 17 | 1 | 3 | | | 操作端末ごとに、システムの操作ログを残すことが可能なこと。 |
| 17 | 1 | 4 | | | 職員別のIDとパスワードによるログインが可能なこと。 |
| 17 | 1 | 5 | | | 使用材料の照会画面にアクセスしたログを残せること。 |
| 17 | 1 | 6 | | | 品目／業者／部門コード等のコード入力時に、画面上でコードリストの表示・選択が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 7 | | | 品目コード入力時は、品目コード入力または、品目名、規格、メーカー名、略称、品目種別、頻度でも検索入力可能なこと。 |
| 17 | 1 | 8 | | | 出力帳表について、画面での参照・確認が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 9 | | | 既存の出力帳表が印刷できること。 |
| 17 | 1 | 10 | | | 日々の受払データの保存期間については12ヶ月以上保存可能であり、ディスク容量に応じた運用が可能なこと。（システム上、固定でないこと） |
| 17 | 1 | 11 | | | 薬剤部門・用度部門など扱う品目の種類によって複数の倉庫管理が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 12 | | | 契約履歴（業備含む）が年間6回以上管理可能なこと。 2年間以上の履歴が保存可能で参照可能なこと。 |
| 17 | 1 | 13 | | | 契約決定後の遡及処理（未決定期間を遡った再計算）が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 14 | | | 対象品目の請求点管理、発注点管理が可能なこと。（適正在庫・発注点の設定ができること） |
| 17 | 1 | 15 | | | 業務開始時のパスワード入力・権限チェックが可能であり、業務の使用制限が可能なシステムであること。 |
| 17 | 1 | 16 | | | VAN発注で利用可能なテキストファイルの出力が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 17 | | | バーコードリーダー入力の対応が可能なこと。バーコード台帳の印刷が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 18 | | | 調剤システムとの接続などの拡張性も有していること。 |
| 17 | 1 | 19 | | | パソコンでの統計データの容易な抽出と統計データの加工および統計表の作成が可能なこと。（マスタ、納品、出庫データがExcel®で扱える形式で出力可能なこと） 院内で自由に処理できるよう、市販アプリケーションソフト（MS Access®等）の活用が図れること。 |
| 17 | 1 | 20 | | | パソコン単体から複数台のシステム構成まで対応が可能で、ライセンス数を意識しないシステムであること。また、複数の端末よりデータやプリンタを共有することが可能なこと。 |
| 17 | 1 | 21 | | | ロットごとの在庫管理が行えること。ロット管理は、部署、倉庫共に行えること。 |
| 17 | 1 | 22 | | | ロット情報は品目ごとに履歴管理だけを行うか、在庫の管理までを行うかを選択可能であること。 |
| 17 | 1 | 23 | | | お知らせ機能を有すること。ログイン時にお知らせ掲示板を表示可能で、お知らせ情報は、6部署程度まで個別に管理可能なこと。 |
| 17 | 1 | 24 | | | 品目の画像を登録することが可能なこと。その画像を参考に部署から請求が可能なこと。また、その画像を参考に倉庫で発注が可能なこと。 |
| 17 | 1 | 25 | | | 設計時に指定した項目（システムで扱うもの）を画面表示し、Excel®ファイルや、CSVファイルに出力可能なこと。 |
| 17 | 1 | 26 | | | 既存薬剤管理システムのデータが閲覧でき、Excel®ファイルや、CSVファイルに出力可能なこと。 |
| 17 | 2 | | | | 請求管理業務 |
| 17 | 2 | 1 | | | 診療部門で品目の請求データの入力・修正が可能なこと。 |
| 17 | 2 | 2 | | | 品目名称、規格、単位、部門の在庫数の表示が可能なこと。 |
| 17 | 2 | 3 | | | 請求時に、相手側に対しコメント入力可能なこと。 |
| 17 | 2 | 4 | | | 1回の入力画面で20件以上の任意の数の品目が登録可能なこと。 |
| 17 | 2 | 5 | | | 請求入力時、セット登録情報が検索で利用できること。 セット登録された順番で表示可能なこと。 |
| 17 | 2 | 6 | | | 一日に複数回の請求が可能なこと。 |
| 17 | 2 | 7 | | | 同一品目が複数登録されていないか入力チェックが可能なこと。 |
| 17 | 2 | 8 | | | 日にち指定での請求停止が設定可能なこと。請求停止日以降の品目は、請求できないこと。 |
| 17 | 2 | 9 | | | 承認権限を設定し、登録、承認の2段階の階層を設定可能なこと。 |
| 17 | 2 | 10 | | | 請求一覧表を作成できること。 請求入力データをもとに、一覧表形式で作成できること。 出力時に、請求日付の範囲指定、品目種別、状況の指定が行えること。 請求先、品目コード、名称、規格、請求日付、請求数の印刷が可能なこと。 |
| 17 | 2 | 11 | | | 未払一覧表を作成できること。 請求に対する未払出品目の一覧表を作成できること。 帳表出力時に請求日付の範囲指定、請求先部門の指定が行えること。 請求先、品目コード、名称、規格、請求数、未払数の印刷が可能なこと。 |
| 17 | 3 | | | | 使用管理業務 |
| 17 | 3 | 1 | | | 診療部門で使用材料データの入力および修正が行えること。 |
| 17 | 3 | 2 | | | 実施日付、品目コード、使用数の入力可能なこと。 |
| 17 | 3 | 3 | | | 品目名称、規格、単位の表示が可能なこと。 |
| 17 | 3 | 4 | | | 1回の入力画面で20件以上の任意の数の品目が登録可能なこと。 |
| 17 | 3 | 5 | | | 使用入力時、セット登録情報が検索で利用できること。セット登録された順番で表示可能なこと。 |
| 17 | 3 | 6 | | | 一日に複数回の使用実績の登録が可能なこと。 |
| 17 | 3 | 7 | | | 使用入力時には、使用・破棄・破損・紛失・研究・試用・その他の入力が可能なこと。 |
| 17 | 4 | | | | 発注管理業務 |
| 17 | 4 | 1 | | | 発注する品目については、発注予定データとして入力・修正が可能なこと。 |
| 17 | 4 | 2 | | | 品目名称、規格、単位の表示が可能なこと。 |
| 17 | 4 | 3 | | | 1日に複数回の発注予定入力可能なこと。 |
| 17 | 4 | 4 | | | 発注点切れにより自動生成された発注予定データの修正及び追加が可能なこと。 |
| 17 | 4 | 5 | | | 発注予定一覧表を作成可能なこと。帳表出力時、発注予定日付の範囲指定、品目種別の指定が可能なこと。発注予定日、品目名、規格、発注予定数、現在庫の出力が可能なこと。 |
| 17 | 4 | 6 | | | 日にち指定での発注停止が設定可能なこと。発注停止日を過ぎた品目は、発注できないこと。 |
| 17 | 4 | 7 | | | 各診療部門ごとに請求可能数の上限を設定可能なこと。 |
| 17 | 4 | 8 | | | 発注実績を品目ごとに月別参照可能なこと。 |
| 17 | 4 | 9 | | | 発注データの登録・修正・中止及び確定が可能なこと。随意契約の品目については、発注確定入力時に業者の選択、単価の入力が可能なこと。 |
| 17 | 4 | 10 | | | 業者ごとに発注書の作成が可能なこと。発注番号は自動採番が可能なこと。直納品目は納品部門ごとに出力可能なこと。発注日、伝票番号、業者名、納品場所、品目名、規格、包装内容、メーカー名、発注数単価、金額の出力可能なこと。 |
| 17 | 4 | 11 | | | 発注書の修正、再発行が可能なこと。発注書修正時には、発注書番号または発注日付を指定することにより発注書の内容を表示し品目を修正することが可能なこと。 |
| 17 | 4 | 12 | | | 未実施オーダデータより、薬品の処方数量が抽出できること。 |
| 17 | 5 | | | | 納品管理業務 |

| | | | | |
|----|---|----|--|---|
| 17 | 5 | 1 | | 発注データをもとに、伝票番号単位の納品処理が可能なこと。未納がある発注書のみ表示すること。業者名、発注日付、発注番号を表示すること。また、一括の納品登録が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 2 | | 一部納品データを、未納打ち切りする事により、完納扱いにする事が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 3 | | 随時契約品目の場合は、単価の変更が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 4 | | 発注を行わなくても、納品データの登録が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 5 | | 直納品については、納入部門の指定が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 6 | | 返納・値引・値増の処理が可能なこと。返納時には、契約単価を指定が可能なこと。契約単価省略時には在庫のある最も古い契約単価が自動的に選択されること。 |
| 17 | 5 | 7 | | 登録した納品データの修正・削除が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 8 | | 購入実績表を作成可能なこと。納品入力された内容の一覧表を作成可能なこと。帳表出力時、納品日付の範囲指定、業者指定が可能なこと。業者名、品目名、規格、納品日、納品区分、単価、納品数量、納品金額、メーカーの出力が可能なこと。業者順、納品日付順に出力可能なこと。 |
| 17 | 5 | 9 | | 未納品一覧表を作成可能なこと。帳表出力時、業者指定が可能なこと。業者名、品目名、規格、発注数、未納数、単価、発注金額、発注日の出力が可能なこと。業者順に出力可能なこと。 |
| 17 | 5 | 10 | | 購入実績表を作成可能なこと。購入データをもとに指定期間の集計表が出力可能なこと。帳表出力時、納品年月の範囲指定、出力順、納品区分の指定が行えること。出力順は、業者、分類、メーカー、薬効、剤形の内、2つの項目指定が可能で、一部の指定「D」のみ出力することも可能なこと。業者名、名称、規格、メーカー、納品数、単価、納品金額、消費税、定価(薬価)、差益金額、対定価率の出力が可能なこと。出力順の合計も出力が可能なこと。 |
| 17 | 5 | 11 | | 購入金額順位表を作成可能なこと。購入データをもとに購入金額の順位表が出力可能なこと。帳表出力時、納品年月の範囲指定、出力順、上位品目の指定が可能なこと。出力順は、業者順、分類別業者順、メーカー順、分類別メーカー順、品目コード順、分類別品目コード順の指定が可能なこと。順位、購入金額、定価(薬価)金額、購入差益の出力が可能なこと。出力順ごとの小計および合計が出力可能なこと。品目順の場合は、品目名、規格が出力可能なこと。 |
| 17 | 5 | 12 | | 購入ABC分析表を作成可能なこと。購入データをもとに購入金額のABC分析表が出力可能なこと。帳表出力時、納品年月の範囲指定、分類コード、累計比率、購入金額の指定が可能なこと。順位、品目名、規格、購入金額、対全体比、累計金額、累計比率、定価(薬価)金額、定価累計、累計比率の出力が可能なこと。定価累計、累計比率の出力が可能なこと。分類順ごとの合計が出力可能なこと。 |
| 17 | 5 | 13 | | 予算科目ごとに、各月の購入状況の一覧表が出力可能なこと。帳表出力時に対象年度、部門指定が可能なこと。予算科目、月々の購入額が出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | | | 在庫管理業務 |
| 17 | 6 | 1 | | 棚卸記入表を作成できること。棚卸前に棚卸記入用のワークシートが画面と同様の出力順に出力可能なこと。品目名、規格、実在庫記入欄、理論在庫数の出力が可能なこと。 |
| 17 | 6 | 2 | | 棚卸記入表は棚卸で出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 3 | | 棚卸記入表に基づいて棚卸数の入力ができること。棚卸分類コード、棚卸区分の指定により、棚卸対象品目の表示が可能なこと。品目名、規格、理論在庫数の表示と実在庫数の入力が可能なこと。 |
| 17 | 6 | 4 | | 棚卸は在庫単位での入力の他に、棚卸単位での入力も可能なこと。棚卸単位はより小さい単位での設定も、より大きい単位での入力も可能なこと。 |
| 17 | 6 | 5 | | 棚卸チェック表を作成できること。棚卸更新前に棚卸数の確認帳表として、分類コード、棚番号順に出力可能なこと。品目名、規格、実在庫数、理論在庫数の出力が可能なこと。 |
| 17 | 6 | 6 | | 棚卸更新が行えること。実在庫数にあわせて理論在庫数が更新可能なこと。理論在庫と実在庫の差は棚卸損益として自動計上可能なこと。 |
| 17 | 6 | 7 | | 棚卸の実績を記録した棚卸実績表を作成可能なこと。条件として、棚卸分類、棚区分を指定できること。棚卸分類、棚区分ごとに、品目コード、品目名、規格、棚卸数、棚卸差数、棚卸日付が表示可能なこと。 |
| 17 | 6 | 8 | | 消費期限切れ品目、消費期限切れ間近品目の抽出が可能である事 |
| 17 | 6 | 9 | | 在庫照会が可能なこと。品目種別、業者の指定が行えること。保持している在庫を品目単位で参照可能なこと。ロットを指定することで、該当ロットを倉庫部門が保持しているか参照可能なこと。 |
| 17 | 6 | 10 | | 現在在庫一覧表を作成可能なこと。品目種別コード、部門、業者、集約条件(品目毎、品目契約毎)、在庫状況(在庫あり、マイナス在庫、全件)の指定が可能なこと。分類コード別に、品目名、規格、包装数、メーカー、在庫数、在庫金額が出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 11 | | 月締め在庫一覧表を作成可能なこと。指定月の在庫状況一覧表が出力できること。対象年月、分類コードの指定が行えること。在庫状況(在庫あり、在庫なし、全件)の指定が可能なこと。分類別、品目コード順に出力可能なこと。分類コードでの集計表も出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 12 | | 不動在庫リストを作成可能なこと。画面で照会できること。指定月以降に受払の動きがない品目の一覧表を出力できること。対象期間の指定と、在庫分(在庫あり、在庫なし、全件)の指定が可能なこと。品目名、規格、在庫数、在庫金額、最終納品日、最終払出日が出力可能なこと。品目コード順に出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 13 | | 有効期限切れ警告リストを作成可能なこと。画面で照会できること。有効期限切れ品目の一覧表が出力できること。分類、棚区分の指定が可能なこと。 |
| 17 | 6 | 14 | | 在庫表を作成可能なこと。分類コードの指定が可能なこと。部署、分類コード、品目コードごとに品目名、規格、在庫数量、定価、定価資産、購入価が出力可能なこと。分類ごとに購入価が出力可能なこと。部署ごとに購入価が出力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 15 | | 棚卸の薬品リストが出力できること。 |
| 17 | 6 | 16 | | 薬品リストには備考欄があり、フリーコメントが入力可能なこと。 |
| 17 | 6 | 17 | | 破損廃棄入力時に、破損廃棄の理由が入力できること。 |
| 17 | 7 | | | 払出管理業務 |
| 17 | 7 | 1 | | 請求データに対し倉庫在庫を元一括で倉庫在庫の引き当てが行えること。また手動による引き当ても行えること。未払の品目が発生した場合は、在庫不足分の発注予定データの自動生成が可能なこと。 |
| 17 | 7 | 2 | | 請求日、請求者、在庫、棚番号の表示が可能なこと。臨時品、緊急品の区分ごとに抽出が可能なこと。 |
| 17 | 7 | 3 | | 払出時に発注点切れが生じた場合は、発注予定データを自動作成できること。 |
| 17 | 7 | 4 | | 請求の締め切り日の設定が可能なこと。 |
| 17 | 7 | 5 | | 払出の仮登録が可能なこと。仮登録データの表示、本登録が可能なこと。 |
| 17 | 7 | 6 | | 出庫指示表を作成可能なこと。出庫データをもとに、払出作業の際に使用する帳表の出力が行えること。帳表出力時、出庫日付の範囲指定、払出先の指定が可能なこと。払出先、品目コード、名称、規格、請求日、請求数、払出数、未払数の印刷が可能なこと。 |
| 17 | 7 | 7 | | 診療部門からの請求伝票をもとに、出庫データの入力部門別に可能なこと。出庫データの入力時に、品目の現在在庫数の表示が可能なこと。品目名称、規格、単位の表示が可能なこと。払出時に、コメント入力が可能なこと。1回の入力画面で20件以上の品目が登録可能なこと。 |
| 17 | 7 | 8 | | 出庫入力が小数点第一位まで入力できること。 |
| 17 | 7 | 9 | | 出庫入力時には、出庫・返品を選択が可能なこと。出庫時には、先入先出方式で自動的に古い契約から出庫することが可能なこと。返品時には、契約単価を指定して返品可能なこと。省略時には最新契約単価で処理可能なこと。 |
| 17 | 7 | 10 | | 出庫入力時、セット登録情報が検索でき利用できること。セット登録された順番で表示可能なこと。 |
| 17 | 7 | 11 | | 入力した出庫データは、部門別ごとに修正・削除が行えること。その際、現在在庫数の参照が行えること。 |
| 17 | 7 | 12 | | 部署間での移管が行えること。部署の在庫数、払出状況を一覧で表示可能なこと。 |
| 17 | 7 | 13 | | 受払照会が可能なこと。指定期間の納品、出庫の情報を明細単位で参照可能なこと。品目コード、日付の範囲指定、部署、ロットNoの指定が行えること。患者への使用状況も照会できること。 |
| 17 | 7 | 14 | | 受払台帳を作成可能なこと。納品、出庫の明細を一覧表形式で出力可能なこと。年月の範囲指定、品目コード、品目種別コード、分類コードの指定が可能なこと。分類、品目名、規格、繰越数、繰越金額、受払日、納品業者、納品数、納品金額、払出先部門、払出数、払出金額、在庫数、在庫金額の出力が可能なこと。分類、品目コード、受払日順に出力可能なこと。 |
| 17 | 7 | 15 | | 年次受払簿を作成可能なこと。一年分の受払情報の一覧表を作成できること。分類及び対象年度の指定が行えること。分類別、品目別、月単位に購入数、払出数、前年同月比の出力が可能なこと。分類別、月別に購入金額、払出金額の出力も可能なこと。 |
| 17 | 7 | 16 | | 払出台帳を作成可能なこと。出庫データをもとに、出庫入力を確認する帳表の出力が行えること。帳表出力時、出庫日付の範囲指定、払出先の指定が可能なこと。払出先、品目コード、名称、規格、請求日、払出数の印刷が可能なこと。 |

| | | | | |
|----|----|----|--|---|
| 17 | 7 | 17 | | 払出実績表を作成可能なこと。出庫データをもとに、指定期間の集計表の出力が行えること。帳表出力時、出庫年月の範囲指定、出力順、出庫区分の指定が可能なこと。出力順は、払出部門、分類、メーカー、薬効、剤形の内の、2つの項目指定が可能で、一部の指定コードのみ出力することも可能なこと。品目コード、名称、規格、払出区分、払出数、単価、金額の印刷が可能なこと。出力順の合計も出力できること。 |
| 17 | 7 | 18 | | 調剤システムより払出数量が取り込めること。 |
| 17 | 8 | | | 入札管理業務 |
| 17 | 8 | 1 | | 1品目に対して、複数の業者から見積もりをとり、見積単価の最も安い業者へ一括決定可能なこと。 |
| 17 | 8 | 2 | | 入札対象品目の抽出が可能なこと。種別コード、分類コードで入札対象品目を抽出し、複数の業者を設定することが可能なこと。契約予定日の設定が可能なこと。単価契約のみか、随意契約も含むかを選択可能なこと。現行業者に対するの再見積の抽出が分類ごとに指定できること。 |
| 17 | 8 | 3 | | 購入実績数の抽出が可能なこと。指定期間の購入データをもとに、購入実績数を抽出できること。 |
| 17 | 8 | 4 | | 見積依頼書を作成可能なこと。入札対象品目から指定業者の情報を出力することが可能なこと。帳表出力時、業者の指定が可能なこと。契約予定日、品目名、規格、包装数、メーカー名、定価(薬価)、購入実績数、見積金額欄の出力が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 5 | | 見積依頼書の内容を外部媒体に出力可能なこと。格納場所は任意に変更可能なこと。ファイル形式は市販のアプリケーション (Excel (xls形式)) で使用できる形式であること。 |
| 17 | 8 | 6 | | 見積単価入力が可能なこと。業者を選択し、入札対象品目の見積金額、定価(薬価)金額の入力が可能なこと。分類、品目コードを入力することにより表示対象を選択可能なこと。品目名、規格、現行単価の表示が可能なこと。見積依頼書と同じ表示順になっていること。 |
| 17 | 8 | 7 | | 見積依頼は外部媒体から取り込みが可能なこと。外部媒体から一括で見積金額、定価(薬価)の取り込みが可能なこと。 |
| 17 | 8 | 8 | | 業者の決定入力・変更が可能なこと。品目ごとに業者の決定・変更が可能なこと。業者名、見積金額を表示可能なこと。 |
| 17 | 8 | 9 | | 一括で業者決定が可能なこと。見積金額の最も安い(0円は除く)業者を一括決定可能なこと。同一見積金額があった場合は、業者決定しないこと。見積金額を修正した場合は、再度実行可能なこと。 |
| 17 | 8 | 10 | | 現行契約金額を上回る品目は再入札可能であること。 |
| 17 | 8 | 11 | | 希望落札額を業者へ提示可能である事。希望落札額を上回る品目は再入札可能である事。 |
| 17 | 8 | 12 | | 現行契約金額が新規契約予定金額に変更することで、購入金額がどのように変わるかシミュレーションが可能である事。 |
| 17 | 8 | 13 | | 決定一覧表を作成可能なこと。業者決定している入札対象品目の業者を出力可能なこと。帳表出力時、分類の指定が可能なこと。分類、品目名、規格、包装数、業者名、決定単価、定価(薬価)、値引率の出力が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 14 | | 未決定一覧表を作成可能なこと。業者決定していない入札対象品目を出力可能なこと。帳表出力時、分類の指定が可能なこと。品目名、規格、包装数、業者名、見積単価、定価(薬価)、値引率の出力が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 15 | | 落札通知書を作成可能なこと。業者決定している入札対象品目を業者ごとに出力可能なこと。帳表出力時、業者の指定が可能なこと。業者名、品目名、規格、包装数、メーカー、決定単価、定価(薬価)の出力が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 16 | | 差額一覧表を作成可能なこと。業者決定している入札対象品目に対して、納品実績に対する購入金額と新契約金額の差額金額を業者ごとに出力可能なこと。マスタに登録する前と後のいずれでも出力可能なこと。帳表出力時、業者の指定が可能なこと。業者名、品目名、規格、包装数、メーカー、購入数、旧単価、旧購入額、新単価、新購入額、差額の出力が可能なこと。業者ごとの差額合計金額が出力可能なこと。 |
| 17 | 8 | 17 | | 決定業者の単価、定価(薬価)を契約履歴マスタに一括で更新することが可能なこと。契約開始日付の変更が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 18 | | 契約決定前に一括で新規の契約を作成可能なこと。作成される契約日付の指定が可能なこと。種別コード、分類、業者の指定が可能なこと。 |
| 17 | 8 | 19 | | 契約金額の更新を一括で更新することが可能なこと。旧契約開始日と、新契約開始日の指定が可能なこと。単価契約のみ、単価契約および随意契約の指定が可能なこと。業者コード、品目種別、品目コードの指定が可能なこと。 |
| 17 | 9 | | | マスタ管理業務 |
| 17 | 9 | 1 | | 品目マスタには、以下の項目が設定でき、管理が可能なこと。 ・品目コード(10桁以上)任意のコード付けが可能なこと ・名称(60桁以上)全角30文字の入力が可能なこと ・規格(64桁以上)全角32文字の入力が可能なこと ・梱包数(14桁以上) ・消費税区分(1桁)税制改正に対応できていること |
| 17 | 9 | 2 | | 品目の契約履歴リストを作成可能なこと。条件として、品目コードの範囲指定が可能なこと。品目コード、品目名、業者、契約日付、契約単価、契約区分、発注停止日、決定フラグ、定価、契約単位、メーカー、JANコード、操作日付が表示可能なこと。 |
| 17 | 9 | 3 | | 購入単位、管理倉庫単位、中間倉庫単位、使用単位、請求単位、棚卸単位の6種類の管理が可能なこと。それぞれの換算が可能なこと。単位は2桁でコード付けが可能なこと。 |
| 17 | 9 | 4 | | セットの登録が可能なこと。セットは請求、払出部門毎に登録可能なこと。1部門あたり最大100セットの登録が可能なこと。1セットで登録できる品目は制限がないこと。 |
| 17 | 9 | 5 | | 各種マスタファイルの登録・修正・更新が可能なこと。 |
| 17 | 9 | 6 | | 各種コードブック(各種マスタの一覧表)を作成可能なこと。 |
| 17 | 9 | 7 | | マスタ削除リストを作成可能なこと。画面で照会できること。論理削除した品目の一覧表が出力可能なこと。品目名、規格、論理削除日の出力が可能なこと。品目コード順に出力可能なこと。 |
| 17 | 9 | 8 | | Excel®ファイル(xlsx形式)にてマスタの取り込みが可能なこと。品目情報、部門、定数、業者のマスタが取込可能であること。取り込み用のフォーマットの出力も可能であること。 |
| 17 | 9 | 9 | | 品目のコードの自動採番が可能なこと。 |
| 17 | 9 | 10 | | セット情報、定数情報、請求点、発注点の情報が同時に修正可能なこと。 |
| 17 | 9 | 11 | | 棚区分コード変更時は、全ての契約日付で一斉に変更できること。 |
| 17 | 9 | 12 | | 論理削除した物品は、コードあるいは名称検索時にリストの中に出てこないこと。 |
| 17 | 9 | 13 | | マスタ更新画面で物品コードがカナ検索できること。 |
| 17 | 9 | 14 | | 品目マスタには、ユーザーが活用できる項目があること。(5項目以上・テキスト入力可能) |
| 17 | 10 | | | 出力帳表一覧 |
| 17 | 10 | 1 | | 請求管理 ・請求一覧表 ・未払一覧表 |
| 17 | 10 | 2 | | 出庫管理 ・出庫指示表 ・払出台帳 ・払出実績表 ・受払台帳 |
| 17 | 10 | 3 | | 発注管理 ・発注予定一覧表 ・発注書 |

| | | | | |
|----|----|---|--|--|
| 17 | 10 | 4 | | <p>納品管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入台帳 ・ 購入実績表 ・ 購入合計表 ・ 購入ABC分析表 ・ 未納品一覧表 ・ 購入金額順位表 (業者順・分類別業者順・メーカー順・分類別メーカー順・品目順・分類別品目順) |
| 17 | 10 | 5 | | <p>在庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受払台帳 ・ 棚卸表 (記入用・チェック用) ・ 現在庫数一覧表 ・ 月締め在庫一覧表 ・ 有効期限切れ警告リスト ・ 不動在庫リスト ・ 年次受払簿 (分類別 品目別・部門別 年度別) ・ 棚卸実績表 |
| 17 | 10 | 6 | | <p>入札管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札見積依頼書 ・ 入札決定一覧表 ・ 入札未決定一覧表 ・ 落札通知書 ・ 差額一覧表 |
| 17 | 10 | 7 | | <p>マスタ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種コードブック (各種マスタの一覧表) ・ マスタ削除リスト ・ 契約履歴リスト |
| 17 | 11 | | | 他システム接続 |
| 17 | 11 | 1 | | Excel®変換(xlsb形式)ができること。マスタ項目、納品明細、出庫明細、月合計金額をExcel®で利用できる形式で任意の場所へ出力することが可能なこと。 |
| 17 | 11 | 2 | | 調剤システムから出庫データを作成できること□ |